

共存共榮を達成する能力を有するものである。過去約三十ヶ月間我々は非常な苦難を忍んで抗爭を續けた、余は友邦が我々に同情と支拂を與へることを希望してゐる、我々は全人類の平等と自由を達成するため常に友邦に對しては相互的恩恵を以て酬ひるであらう。吾人究極の勝利は遠くない、之は蔣介石の功績によるものである、全市民、全國民はその持場を守り、その義務を履行しなければならぬ、我々は心を一つにし、抗戰態度を固執して漢奸のすべてを敗らなければならぬ、我々は敵の手中に歸したる領土を忘却せず、その速かなる回復のために闘はなければならぬ。又我々は被占領地區の深淵と業火に苦しんでゐる我々の兄弟姉妹を救ふべく努めなければならぬ。この大事業には聊かの躊躇も許されぬ、我々はすべて協力して戦ひ続けよ」。

内閣情報部四・二 情報第四號

一 上海ロイテル新聞電報放送 (三月廿九日) (朝鮮總督府遞信局總取)

一、上海報

(イ) 今夕「上海イヴ・ポスト」の小論説「ロイテル外交記者よりのロンドン電報によればイギリス當局の汪精衛政権に對する態度は「全くの不承認」になるだらう、若干の外國貿易業者は傀儡政權と交渉しなければならぬと認められてゐるが、官邊に關する限りその態度は「不干渉」である、政治的、經濟的必要によつて現實より遊離を餘儀なくせられてゐる國々を除き、英米佛或はその他の大國が他の途を選ぶものは豫期されてゐない。イギリスの聲明は戰爭の重壓によりイギリスが極東に於て日和見をしてゐるといふ風説を否定してゐるから興味あるものである。汪一派は日本を代表してゐるに過ぎない。そして日本政府は既に外交的にそれを承認してゐるのである。

(ロ) 「上海イヴ・ポスト」の報道によれば明日南京に組織される汪精衛政府を否認するため明日當地で支那學生の「怠業」ストライキが行はれる模様である、汪政府に反對し、國民政府に忠誠を示すため罷業を要求せる愛國的支那學生團體の秘密回章が發せられてゐるといはれる、或る回章は注に「傀儡第一人者」なる烙印を押してゐること。

二、重慶報

各省各界各派の指導者達が第五次國民參政會議に出席する爲め重慶に到着してゐる、既に百名以上の委員が當地にあつて開會を待つてゐる。今回の會議は國民會議の召集が愈よ今秋行はれることになつてゐるので解散前の最後の會議になる筈であり、特別關心をもたれてゐる、今回の主要議題は立憲政府の樹立に關する問題になるものと解されてゐる。物價安定問題も委員によつて討議されるであらう。

三、東京報

三月七日の齋藤隆夫除名によつて政黨間に生じた内部的軋轢と分裂の結果、議員筋殊に右翼と労働黨内に重大な變化が豫想されてゐる。齋藤の除名に賛成した議員と軍の政策を支持してゐる民政黨議員によつて組織されてゐる聖戰貫徹同盟は目下英佛に對する強硬態度に贊意を表してゐる各派の議員を盛んに糾合してゐる、その目的は民主主義國に、媚び諂ふ、政策に反對し、若しイギリス或はアメリカが新注政權を妨害することがあれば之に對する強硬手段を提唱するやうな新しい右翼の有力なる黨を組織することにある。忌憚なく云へば政府と軍の壓力に恭順の意を表し、議會の憲法上の權利に背馳して齋藤を強制除名した衆議院議員大多數の行爲が、政黨内に未曾有の紛争を齎し、當分は彼等を無力、無用たらしめるであらう小黨派に分裂せしめる豫想通りの結果を齎したものと云へよう。

内閣情報部 二 情報第五號

成都中央通信社新聞電報放送 (三月廿九日) (朝鮮總督府遞信局轉取)

重慶報

(イ) 支那にゐる臺灣人の革命指導者は本日重慶に於て臺灣革命派聯合會を正式に結成した。發表せる聲明書によれば臺灣獨立革命黨及び臺灣國民革命聯盟は過去四十日間反日運動を促進してゐる、今次支日戰勃發以來臺灣人は、鑛山、ガソリン貯藏所、鐵道、その他臺灣駐屯日本軍の軍事施設を破壊してゐる、同會は革命運動を強化する爲に組織されたものである。

(ロ) 華僑代表團長 TAN KAI KE E 及び副團長 CHUAN HSI YEN は中央黨部海外部長吳鐵城、僑務委員會主席陳樹人、新加坡支那總領事高凌白に伴はれ蔣介石總統を訪問して敬意を表した。談話中蔣介石は華僑の巨額な戰時獻金、義捐金を賞揚した。また國民政府主席林森も南洋華僑代表團を招待し、華僑達の示した愛國心を稱揚した。

(ハ) 香港報によれば南京で汪精衛は會見せる外人記者は、汪精衛及彼の從者達が表面では元氣を装つてゐるけれども、汪は苦惱を感ぜ次第に自信を失ひつつあると觀測してゐる。外人記者によれば汪は日本軍國主義者達が早晚日本青年の信望を失ふだらう、日本の對支侵略